日本キリスト教団 **東金教会〔４６〕**

2018年１１月１８日 降誕前第６主日礼拝

年度目標　《繋がれて生きる》

聖　句　わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。　ヨハネ福音書１５章５節

【礼拝式次第】

司式	土屋
奏楽	中村
受付	深山
案内	安延
名札係	藤本
礼拝感謝祈祷	藤田
〃　〃	王

前奏		中村
讃美歌	３０	一同
使徒信条	５６６	〃
交読文	４３	司・会衆
主の祈り	５６４	一同
聖書	出エジプト記 3:1～12	司会者
祈祷		土屋
新聖歌	４２６	一同
み言葉の伝え		朴
「救いの約束」		
讃美歌	２５８	一同
幼児祝福式		中村
讃美歌	４６１	一同
献金		
礼拝感謝		藤田
〃　〃	５４１	王
報告		土屋
頌栄	新聖歌５８	一同
祝祷(派遣)		朴
後奏		聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会 11月21日(水)午後７時半～
早天祈祷会 月-金7時(除祭日)メーヤー館
聖書輪読会 11月25日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 11月25日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日は幼児祝福礼拝を持ちました。幼な児の健かな成長を願い、共に祈り合わせて行きたいと思います。

☆本日午後４時から松村　兄と梅田　姉の結婚式が市川三本松教会に於いて中村牧師司式の下に執り行なわれます。教会の結婚式ですので、出席下さる方はご自由です。中村牧師は２時前出発の予定です。

☆次週25日は謝恩日献金として第二献金が予定されています。宜しくお願い致します。

☆九十九里教会クリスマスコンサートのご案内が来ております。12月8日(土)午後３時より開始です。お時間のございます方はお出かけ下さい。

☆今年のクリスマス礼拝は１２月２３日です。受洗希望の方は中村牧師まで申出下さい。

【分区・支区・教区報告】

○東総分区牧師会　11/20 10:30～
於・九十九里教会

【11月18日～11月24日の誕生者】

○足立　姉　○井上　姉　※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(11/11)	21	28	49
聖研祈祷会(11/14)	3	3	6
聖書輪読会(11/11	2	2	4
教会学校(11/11)	6	13	19

早天祈祷会 日	男	女	計
11/12	1	2	3
11/13	1	2	3
11/14	1	2	3
11/15	1	2	3
11/16	1	2	3

主日礼拝献金(11/11)……37,770円
教会学校献金(11/11)……8,250円

【今日のメッセージ】

題　［救いの約束］
聖　書　出エジプト記3:1～12
1・わたしは何者でしょう
2・わたしはあなたの神である
3・遠回りだから得たもの

【次週(11月２５日)礼拝案内】

題　〈苦しみの中の喜び〉
聖　書　コロサイ書1:24～25
交読文　44
讃美歌　66番　385番
新聖歌　355番

【次週(11月２５日)礼拝式当番】

御言葉の伝え	中	村
司式者	森	川
奏楽者	中	村
受付者	阿	部
案内者	武	田
名札当番	土	屋
礼拝感謝祈祷	岡	部
〃　〃	戸	波
csお話し	岡	部
会堂清掃者	薬	師寺
〃　〃		
花係	小	林
看板書き	藤	田

【聖書から】

あなたがたは、以前は神から離れ、悪い行いによって心の中で神に敵対していました。しかし今や、神は御子の肉の体において、その死によってあなたがたと和解し、御自身の前に聖なるもの、きずのない者、とがめるところのない者としてくださいました。

コロサイ書一章二一、二二節

神に敵対するとはどういうことであろうか。文字通りに言えば、それは神に悪意を持ち、神に来ようとしなかったと言うことかも知れない。人の心は複雑で、見かけは神に無関心であるかのように装い、あるいは神のご存在を疑い、否定し、信仰者を悪し様に言いながら、その深いところでは神を求めて止まないような人もいる。あるいは逆に神を信ずるといいながら、その信仰告白は浅薄で、自分は神なしでも充分やって行けると思っている人もいる。時に自分の様々な思惑にさえぎられ、自分の本当の求め、神への渇望を自分でも気付かぬ人もいる。しかし腱と筋を的確に見分ける神は、その人の本当願はどこにあるかを見分ける神である。その人の隠されたる深奥に、実は鮮烈な神への憧憬が隠されているのを見出し、そのような彼を憐れみ、御許に引き寄せて下さる神である。コロサイの信徒も、そして、私達もこのように心の内を見通され、このような私達を支払われたのであるし、神の民とされたのである。神は大きな代償を支払われた。神は黙ってそれを受けられた。そしてそれに気付くにはあまりに無自覚なものが我々であるが、自分の救い、自分の平安には気も狂わんばかりに、神に求めない、無頓着な私達、で、神が支払われた代償にんばかりに、神に求めない、無頓着な私達、で、神は御子を肉の姿にお遣しになった。神は御子を肉の姿にお遣しになった。神は十字架に架け、贖いの犠牲としてこの世に遣し、そのの肉を十字架に架け、贖いの犠牲としてこの世に遣し、その罪の枷を壊つために罪の重圧の鎖を断ち切られた。神はこのように断固として罪の重圧の鎖を断ち切られた。神はこのように断固として罪の重圧の鎖を断ち切られた。神はこのように断固として